



農村地域に於ける相続問題の基礎知識

農村地域の相続問題をファイナンシャル・プランニングの視点で考えるとき、深刻化する農地の荒廃や農業に従事する人たちの生活実態をよく知ることが重要となる。

地域差があるものの、これまでの農村でのフィールドワークや寄せられる声をもとに、相続課題の根底にあるものを、(1)生活の視点、(2)資産の視点、(3)相続の視点から整理してみる。

ところで、筆者が農村調査のきっかけとなったのは約40年前で、北関東に於ける初生子相続の実態を知ることだった。最初に生まれた子が男女を問わず相続する実態を戸籍謄本から親族関係図を作成したり、そうした土壌を形成した生活全般をヒヤリングする作業で、後に九州地方の末子相続を理解する手がかりともなった。最近、農業は、民間法人による大規模経営や団塊世代などのセカンドライフの暮らし方で農村移住がテーマになるなど何かと注目を集めている。

(1)生活の視点

リタイア後は緑豊かな田園の中で暮らすことを夢見る都会人が多いことがよく報じられるが、現実はそれ程甘くない。子供時代を過ごした実家近くに帰ろうとすれば、これまで農地を守ってきた親族の「今さら何故?」という反発に面食らう人も多い。過去の事情はともかく、都会生活を満喫し、老後は故郷の農村で暮らすといったライフスタイルそのものが農地を守ってきた者には味わえなかった感覚で、嫉妬心からその後の相続トラブルになったりもしている。

環境汚染は杉・檜が美しい山間部にも及び、清流に魚がいなくなったという声を耳にするほど進んでいる。農業就業人口の約半数は70歳以上の高齢者で、次世代を担う39歳以下は10%にも満たず、高齢化率が高いことから農業事故は全産業比5倍、事故率は建設業よりも高く、65歳以上の事故が約72%と高齢者にとって危険産業に位置する。暮らし方の特徴は、地縁・血縁のつながりはあるものの、都会型の間関係の希薄化が進んでいる。その原因は、子供たちが都市部に移住するなど家族の分散にあり、相続のあり方に大きな影響を及ぼしている。

(2)資産の視点

耕作放棄地の増加や高齢化が進み、農地の維持管理が困難になり、また、農地は収入を生まない不良資産と言われるたりする。もっとも都市近郊では農地転用による不動産所得への期待感が強く、農地の資産としての地域格差は大きい。農政として、生産費と販売価格との関係で赤字になると、それを補う所得補償制度や減反した農地で麦や大豆、飼料米を作ると補助金を増額する政策が議論されるのはそうした背景にある。個別に農地の課題をみると、相続にともなう遺産分割協議の手続が未了で、名義が先々代のままに放置されていたり、市街化農地は農業収入が少ないのに宅地並み課税になるなど、農地の資産としての側面からの農政の遅れを指摘できる。また、

農地の所有者に実質的には非農家が増加し、農業相続の難しさと資産管理の実態に課題が山積している。つまり、農業後継者の不在、名寄せ台帳で所在は分かるものの、農業投資価格や広大地評価など税の特典の理解となると、次世代には分かりにくいという声が多く、資産としての農地に対する魅力の喪失感が広がっている。

(3) 相続の視点

フィールドワークを通じて共通の相続テーマは、相続税のことより「争族」の不安である。農村部では相談機能が乏しく、準備が進まず苛立ちを感じている人が多い。高齢者にとっての不安は、子供たちが都市部に暮らし後継者がいないこと、将来への備えとして遺言や任意後見制度に関心は高いが、具体化できないことにある。

金融目線でみると、地元密着型の金融機関で資金流出が大きい。理由は、相続によって、都市部に住む子供たちへの資産移転による。さらに遺言信託などの事前準備により、相続の開始により遺言執行手続を余儀なくされるケースも増えている。都市部に住む子供たちが老親を巻き込んで準備を進めていることが多い。相続税対策やキャッシュ・フロー作りのための不動産有効活用は伝統的なFP手法であるが、最近老親が子供に不動産を民事信託し、子供が不動産管理会社と契約するようなスキームが話題になっている。親子共に資産管理の悩みを共有しているところからの解決策の一つとなるだろう。

「農村地域に於ける相続問題」に取り組むための予備知識として、農村知識の課題を列記したが、ファイナンシャル・プランナーなどが大きなビジネスチャンスと受けとめ、フィールドワークすると、顧客マーケットは無尽蔵な広がりを持っていることに気付くはずだ。



< 著者プロフィール >

有田 敬三 氏

株式会社 生活経済研究所 代表取締役。

都市銀行勤務中の1986年、金融界初のファイナンシャル・プランニング会社の設立に参画。その後、1999年7月、株式会社 生活経済研究所を設立し現在に至る。中小法人、個人顧客層を対象に会員制でコンサルティング業務を行っている。著書に「ホリスティックファイナンシャルプランニング」「C Sの心理学」など。

「マネープラン読本」は日本リスクマネジメント学会優秀著作賞受賞。

立命館大大学院、関西学院大でも教鞭をとっている。

今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士 FP 実務研究会事務局では、FP 実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士 FP 実務研究会事務局【(株)日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。 TEL 03-3340-4488